

(共同プレスリリース)

## 日本航空学園と北海道エアポートは航空・空港人材育成に向けた連携協定を締結しました ～ 北海道における「持続的発展に向けた航空・空港人材育成事業」を協同して実施 ～

2025年2月7日

学校法人日本航空学園 日本航空大学校・北海道校  
北海道エアポート株式会社

学校法人日本航空学園日本航空大学校・北海道校（学長：梅澤忠弘、以下「日本航空大学校」）と北海道エアポート株式会社（社長：蒲生猛、以下「北海道エアポート」）は、このたび、北海道における「持続的発展に向けた航空・空港人材育成事業」を協同して実施することを目的とした連携協定書（以下「本協定」）を締結しました。両社は本協定に基づき、航空や空港業務を目指す学生や若者に対して、新千歳空港内の教室を活用した「まさにリアルを体感する授業」の実施を開始しますので、お知らせいたします。

日本航空大学校と北海道エアポートは、これまでも「専修学校による地域産業中核の人材養成事業」において、有機的連携による航空人材育成事業を通じ、航空業界への理解を高める取り組みを進めてきました。2社は今後本協定に基づき、航空・空港人材育成に向けた取り組みを拡大・推進していきます。

日本航空大学校は、航空専門教育を通して知識や技術を身に付けると共に、人間教育を通して航空安全を責任持って遂行できる精神を養うことで、新千歳空港をはじめとする道内7空港、その他国内空港、更には海外空港も含め、年間300人以上の即戦力としての航空・空港スペシャリストを輩出することを目標としております。

北海道エアポートは「冬期訓練に特化した北海道訓練センター（仮称）の設置」という目標を掲げており、現在社内において、専門技能を有する空港人材の育成に取り組んでいます。今後は同訓練センターを活用し、社内の人材育成はもちろんのこと、日本をはじめ、世界中の空港からの研修者を受け入れ、冬期訓練に特化した、滑走路除雪や航空機の防除雪氷オペレーション訓練、保安防災訓練等を実施します。また、多言語・デジタル・実践的な実体験を組み合わせることで、技術と知識を身に付けることができる国際基準を満たした最先端の訓練施設の設置を目指します。

### ◆本協定について

名 称	学校法人日本航空学園と北海道エアポート株式会社との「持続的発展に向けた航空・空港人材育成事業」に係る連携協定
協定締結日	2024年11月27日
連携項目	1. 航空人材育成に関すること 2. 空港人材育成に関すること 3. その他航空・空港関連人材育成に関すること 等

### ◆「空港グラハン業界では国内初」新千歳空港内における教室設置および授業実施について（報道公開）

名 称	新千歳空港内教室（仮称） * 空港のリアルが体感できる環境において、航空や空港業務を目指す学生や若者に対する授業を実施します。 * 今後、授業の報道公開を予定しており、本公開に合わせて教室名称の発表も予定しております。
場 所	新千歳空港ケータリングビル2階
授業実施	2025年2月下旬～（予定） ※別途取材案内予定



(教室イメージ)

### 問い合わせ先

#### 学校法人日本航空学園

日本航空大学校・北海道校 担当：川村 TEL：0123-28-1155

#### 北海道エアポート株式会社

本社 広報課 TEL：0123-46-2990（代表）